

獨協医学会

会長 寺野 彰 (獨協医科大学学長)

運営委員会委員

石光 俊彦*	秋山 一文**	麻生 好正	石井 芳樹	上田 善彦
内田 幸介	遠藤美根子	大平 修二	大類 方巳	黒須 明
桑島 成子	篠田 元扶	杉田 憲一	杉本 博之	千種 雄一
中元 隆明	西山 緑	箕持 淳	服部 良之	濱口 眞輔
春木 宏介	平林 秀樹	本田 幹彦	緑川由紀夫	

*委員長 **副委員長

Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

石光 俊彦*	箕持 淳**	麻生 好正	石井 芳樹	篠田 元扶
杉田 憲一	杉本 博之	千種 雄一	服部 良之	濱口 眞輔
平林 秀樹	本田 幹彦			

*委員長 **副委員長

編集事務員

鯉沼 行子

編集後記

Dokkyo Journal of Medical Sciences Vol. 37, No. 3 (獨協医学会雑誌 第37巻3号)をお届けします。今回の特集として「予防医学」が掲載されました。獨協医科大学においてそれぞれの分野で活躍されている先生方にお願ひし、基礎系講座からは公衆衛生学および寄生虫病学などに関して、臨床系講座からは総論、循環器疾患、肝細胞癌、前立腺癌、肺癌、食道癌、消化器外科などに関する予防にかかわる最新の現況を掲載できました。会員の方々の医学的知識の刷新ばかりでなく、日常生活にも関わる実践的な予防法にも触れられており、皆様の関心を引くことができる特集に仕上がったのではないかと考えております。執筆いただいた先生方にはこの場をおかりして心よりお礼申し上げます。今号は「予防医学」特集号であるため原著論文は3編、症例報告は2例と少なめではありますが、会員の皆様の御経験に基づいた成果も掲載することができました。今後とも是非皆様の御経験や研究成果を積極的に御投稿いただきたく宜しくお願ひ申し上げます。

さて、昨年度の自民党から民主党への政権交代から、はや1年が経過しました。この間医療保険制度の改変が行われ、医科大学の財政はこれまでのきつい締め付けからは幾分開放された感があります。しかしながらいつまた反転するかもしれない状況でもありますので、現状をよりよい未来につなぐために、どのように医科大学の運営を行うと良いのか、大変難しい課題であります。2008年のリーマンショックによる世界同時不況以来、このことは日本全体にもあてはまると思われます。これまで発展途上国であった国々が新たな一大勢力として成長する中、景気回復を行うのは大変難しいと思えます。

日本の体力がどこまで持続し、新たな発展につなげることができるのか、心細いばかりです。新たな発展をとげるための下支えには当面何が必要なのか、方向性を見失うことなく、立案し実行することが必要だと考えます。また、当面の利益の確保だけでは今後の荒波に基盤が揺らいでしまいますので、20~30年後を見据えた取り組みも必要になります。私自身は医科大学の一教官として、どのように貢献できるのか考えておりますが、具体的なアイデアが浮かんでこないため、日常の教育や研究を行う中から、将来思いつくことを期待しており頼りない次第です。このような現状においては社会の健康も大変重要でありますので、皆様が今回の特集である「予防医学」に触れたことをきっかけにして、改めて「予防」に興味を抱き、日常の診療に役立てて頂ければ幸いです。

最後になりますが、本誌の出版にあたりその収支は毎年マイナスであり、これまでの貯蓄を切り崩しながら発行にこぎ着けております。このままの現状が続きますと10年以内には貯蓄がなくなり負債が積み重なることになるため、編集室では印刷経費の効率化、掲載広告の幅広い募集、掲載料の再設定を行ってきました。しかし安価な掲載料が本誌の特徴であることを考えますとこれ以上の掲載料の値上げは現在考えておりません。獨協医科大学に在籍する教官の皆様には入会をお願いしておりますが、今後もお役に立てる雑誌をめざしてまいりますので、入会、会員を継続していただき、獨協医学会の活動にご支援・ご協力くださいますようよろしくお願ひ申し上げます。(杉本博之)

2010年10月20日印刷

第37巻 第3号

2010年10月25日発行

編集発行人

獨協医学会

寺野 彰

発行所

獨協医学会

製作

教文堂

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
獨協医科大学
Tel (0282) 86-1111 (内線2009)

〒162-0804 東京都新宿区中里町27
Tel (03) 3260-6136